

組曲「心のスペクトル」総評

- ・ひとつのモチーフを3曲に仕立てる夏の自由研究
- ・3曲を緩-急-緩にまとめ「I. 憂い」からはじまる、まとまりのつかない心情を、ゆれうごくままに各曲へと落とし込むよくやった！
- ・「組曲」よりもたとえば「スケッチ集」のほうが3曲の特性に合っている気がする
- ・モチーフへの強い執着心がかんじとれる
さまざまな感情の触発-定着を破綻なく各曲に書き分ける創作意欲の統制ものぞましい
- ・モチーフをまったくことなったテンポにのせ、「III. 想い」ではバスにもってくる 変奏曲とちがった工夫がピアノ独奏でよりはつきりとみえてくる

I. 憂い

- ・モチーフのながれを寸断するレチタティーヴォが低音・高音と音域を自在に駆けめぐり おもしろい
- ・m.6-7 和声機能をはっきりさせて沈んだ曲調のコントラストとしてみたい



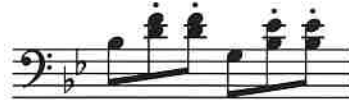
- ・ *tempo rubato* の運指は奏者にまかせてしまい、特に右手左手の指定をせずともよい
- ・ *tempo rubato* のダイナミック指示 たいへんよいが、やや強弱差（とくに *p*）がきよくたんなかんじ
- ・ m.2, 3, 7, 8, 13, 14 フェルマータを両方の五線につけよう
- ・ レチタティーヴォの3連符はすべて32分音符でもよさそう
- ・ m.11 b.6 右手2度上げてラレとすると、よりドミナントがはつきりする
- ・ m.4 b.3 右手のレはペダルを用いているからはぶいてかまわない
- ・ m.2 b.4 左手のタイもペダルをふめば実質なくても効果はいっしょになる
- ・ m.16 両手をわたるアルペジオをつけてみたい

II. 願い

- ・実質 $\frac{3}{8}$ に聞こえる伴奏スタイル モティーフをうまく利用してある
- ・スタッカートがかろやかでイキイキとしたテンポの音楽を実現
- ・m.9-12のスラーが好対照で、ピアノらしい効果がこころよい

- ・m.9 右手  この方が自然なため

- ・m.11 左手は次のように和声を修正したい



- ・m.15 b.1-3 右手



- ・m.15 b.4 右手オクターヴだと不自然にB \flat が強調されるので
下の音はレにしたい

- ・m.8 b.4, m.16 b.4 左手は $\frac{3}{8}$ とかんがえるとどちらも主音ソのほうが
終止感がよりクッキリする

III. 想い

- ・明確に舞曲の性格が出ている

- ・m.2, 14 b.2 右手の記譜  このほうが自然

- ・m.15 右手の記譜 m.3と同様にしたい

- ・m.5 b.4-6 左手 こうすると和声のスッキリ



- ・m.8 b.1-3 右手 主音におちつくと段落感がつよまる



- ・m.11-12 右手 和声をもうすこし整理



- ・m.6 b.4 右手 D \flat はC \sharp で記譜←属音へ半音上行でアプローチ

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

おきたてろめた倉創作熱、熱いうちにドンドン伸ばそう!

持麿勉